

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和49年度	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	02	健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	05	結核・じん肺
事務事業名		02	じん肺患者見舞金事業
		根拠法令・例規等	備前市じん肺患者見舞金条例
		問	担当課(室)
		答	保健課
		職・氏名	健康係長・白髭由美子
		先	電話
		後	64-1820
		このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	1) じん肺管理区分4の決定を受けている者 2) じん肺管理区分2又は3でじん肺と合併した肺結核、その他じん肺の進展経過に応じてじん肺と密接な関係にある合併症があり、療養を要すると決定された者 1) 又は 2) に該当し、見舞金受給の申請をした者
目的(何のために)	じん肺患者の療養を見舞うと共に、じん肺認定等に伴う申請手続き及び健康管理に関わる相談支援を実施する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	じん肺患者の高齢化に伴う体力低下や合併症の発生を予防し、現在の健康状態を維持する。また必要な相談手続きがスムーズに実施できるよう支援する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績		優先度
細事業名	事業の説明	
じん肺患者見舞金事業	療養を見舞うために、対象者に月額1,300円の見舞金を9月・3月の2回に分けて振り込方法で支給する。また年1回健康増進を目的として、本人及び家族を対象に講習会を実施する。	◎
目的を達成するため実施した事業		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		10,677	10,153	9,906	
	必要人員人件費	千円	0.16人	1,356	0.07人	658
	事業費		12,033	10,811	10,398	
	国県支出金		3,386	3,280	3,198	
財源	受益者負担					
	繰入金債	千円				
	その他()					
一般財源		8,647	7,531	7,200		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	見舞金支給人員	説明	対象者に月額1,300円の見舞金を支給(9月・3月の2回に分けて振り込む)			
	結果指標量	事業	676	647	627	
	対前年比	%	-	95.7%	96.9%	
	活動コスト	円	12,033,000	10,811,000	10,398,000	
	単位当たりコスト		17,800	16,709	16,584	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果としてふさわしい指標の設定ができない	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
対象者は呼吸器疾患を有する高齢者であるため、新規申請者より死亡等で資格消失する者が上回り、徐々に見舞金支給人員が減少しており、その増減で成果を判定することはできない。					

事務事業の評価			妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

留意事項の目的やその数値の目標である成果指標を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
状況		○				
説明	月額1,300円の見舞金支給は、例年通り実施。講習会についても、平成20年度から、備前市協議会(＝岡山県連合会)が補助金等を基に主催で実施しよう改めており、今年度も市は共催として会場等の支援をする。					

総合評価		評価区分 <A~E>	妥当性	効率性
市として実施すべき事業ではあるが、見舞金支給については事業開始当時の目的が変化してきており、個人給付から相談事業等に対する体制整備に必要な経費への移行等を検討すべき時期に来ていると考える。(現在、相談事業や申請等の諸手続きの支援を、各組織の役員が担っているが、高齢化に伴う後継者不足が見込まれる)しかし、組織が4つに分かれまともな難しい現状の中で、長年給付されている見舞金がなくなる事への理解を得ることは非常に困難であり、首長の政治的判断が必要である。		C	A	B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
方向性			○			
取組目標	市として、じん肺患者に実施すべき支援のあり方を協議・決定する。					